

政策要望について、東京都議会自由民主党議員との意見交換会を開催

日時：平成 26 年 4 月 18 日(金) 15:00～16:00

場所：都議会議事堂 5 階 東京都議会自民党総会室

平成 26 年度東京都予算等に関する要望について、東京都からの回答に対し改めて考えを出し、また、広く東政連会員から直接新たな要望を聞いて、議員連盟議員を通じて都政へ働きかける機会として、4 月 18 日(金)15 時より東京都議会自由民主党総会室において、東政連会員 27 名、自由民主党都議会議員 9 名が出席して意見交換会を行った。



今回、すでに提示している要望(1)メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)の普及、(2)災害時対策への支援に、(3)印刷産業振興対策、(4)中小企業への金融支援の 2 つの事項を加えて、これら要望について東京都の現行制度と回答を基に実現への進め方を話し合った。自由民主党からは次の意見・提案が出され、今後の対応として、東京都議会自由民主党主導による、東京都関係局からの制度・施策説明と意見交換会を 6 月 30 日に設定した。

「MUD に関しては、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて採用の価値があるが、強制力を持たせた形で普及させるには今後検討を要する。

災害時対策に関しては、東京都 BCP 策定支援事業の取組み枠を増やしていくことになっており、事業所数に見合った取組みができるよう、支援は個別に対応させたい。

印刷産業振興対策、金融支援に関しては、東京都において、印刷・関連産業に特化するものでないが、設備投資に対する助成や資金繰りの支援がある。しかしながら、これまであまり活用されていない。周知不足のところがあ、本年度開始する制度もあるので、事業者にもっと制度等を知ってもらうことが必要である。印刷物発注に係る入札制度の改善にしても、価格重視でない『プロポーザル方式』などを試行したが、業界側の受け入れへの適否が見てこない。これらについては、自由民主党で東京都と研修会の開催を調整するので、認識を深めてもらった上で、改めて意向を示してもらいたい。」

